

松川町健康づくり推進協議会次第

日時 令和元年 6 月 18 日 午後 7 時 00 分～

場所 松川町役場 2 階 中会議室

1 開 会

2 町長あいさつ

3 自己紹介

4 協議事項（進行：会長）

（1）松川町健康増進計画「健康まつかわ21」の概要について

（2）平成30年度評価について

（3）令和元年度の重点的取組みについて

①健康まつかわ21の推進【01】

健康まつかわ21 第4期 松川町健康増進計画の策定

②健康学習の推進【01】

松川町食育基本計画の策定

③町内医療機関との連携【01】

生活習慣病重症化予防のための保健指導の連携

（4）その他

5 閉 会

第3期松川町健康増進計画「健康まつかわ21」 目標指標による評価

達成 状況	目標指標	単位	H26	H28	H29	H30	H31	目標値の説明
			実績値	実績値	実績値		目標値	
—	消防団健診受診率	%	52.5	51.3	42.2	37.9	56.5	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	総合健診(39歳以下)受診者数	人	180	208	178	175	190	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
○	総合健診(75歳以上)受診者数	人	323	357	362	365	340	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
○	特定健診受診率	%	55.0	57.0	57.8	65.6 (速報値)	60	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	特定保健指導率	%	84.6	69.8	74.5	72 (見込)	95	現状水準を維持します。
○	健診受診者結果説明率(受診者÷(説明会参加+訪問による説明))	%	100	100	100	100	100	現状水準を維持します。
—	健康学習会回数(年間延べ回数)	回	247	72	75	78	250	現状を維持します。
—	胃がん検診受診者数	人	670	674	578	685	750	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
○	大腸がん検診受診者数	人	1,086	1,164	1,063	1,183	1,150	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	肺がん検診受診者数	人	1,300	1,413	1,271	1,344	1,350	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
○	子宮頸がん検診受診者数	人	358	513	560	452	450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	乳がん検診受診者数	人	364	489	477	431	450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	精密検査受診率	%	76.3	62.5	54.0	68.2	85	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。
—	町内常勤医師数	人	11	11	10	10	13	過去の水準を確保します。

基本事業	事業の内容	平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価		
(1) 健康まっかわ21の推進											
①健康診断による健康づくり	【01】小中学校血液検査	(達成状況・課題) 血液検査の結果をもとに、健康教育会議で養護教諭と情報共有を行った。結果分析をし、小学校5年生と中学2年生を対象に集団指導を実施した。また、高血糖について、保護者との個別相談を行った。					進捗状況	(達成状況・課題) 4月と5月に血液検査を実施し、その結果を受けて養護教諭と栄養士とともに、授業と個別相談を行った。	基本事業の成果指標	B	
	●子どものうちから生活習慣病を予防できる力を身に付けるため、小学5年生と中学2年生において血液検査を実施します。 ・血液検査の結果を分析し、健康教育会議（教育委員会、保育園、小学校、中学校、保健福祉課）の中で、指導内容を検討していきます。 ・血液検査が基準値を上回った児童・生徒・保護者に対して個別相談を行います。 ・血液検査を行った小学5年生と中学2年生に検査結果に基づいて学習の場を設けます。 ・HbA1c 高値者に対して1年後の再検査を行います。	(今後の取り組み・改善策) 検査結果を踏まえた集団指導と個別相談を実施する。					(今後の取り組み・改善策)				・健診や血液検査を通じて、実施したそれぞれの世代等から生活習慣の状況が確認されたとともに、その情報を両方で共有できた。 ・結果説明会の前に、保健師・栄養士で各種ガイドラインと生活状況を関連させた事例検討を行ったことで、指導の質が向上した。
	【02】消防団健診	(達成状況・課題) 5月の消防団健診では、95名の団員に血液検査を実施した。分団ごとの結果説明会には60名が出席し、生活習慣と結びつけた保健指導を実施した。					進捗状況	(達成状況・課題) 5月の消防団健診で91名に血液検査を実施した。分団別結果説明会に57名が出席し、同時に食育アンケートも実施した。	次期計画の方向性	維持継続性	
	●自覚症状のない生活習慣病を若いうちから予防するため、血液検査と事後指導を行います。 ・消防団の各分団へ健診受診の推進と簡易健診の実施を行います。 ・消防団の福利厚生事業として血液検査を実施します。	(今後の取り組み・改善策) より多くの団員が受診できるよう、案内や受診方法の見直しを検討する。					(今後の取り組み・改善策)				・受診率の向上と、効果的な保健指導で重症化を未然に防ぐことにより、医療費の抑制につながる。 ・医療費の抑制は、国保税の抑制につながることに、将来的には介護保険料の抑制となり、財政負担の軽減につながる。
	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
	消防団健診受診率	52.5	51.3	41.3	37.9		56.5	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。			
	【03】総合健診	(達成状況・課題) 7月と10月に総合健診を実施した。生活習慣と結びつけた結果説明を行うことで、保健指導からの継続的な受診を促した。受診者：39歳以下178名、75歳以上361名、計539名が受診した。					進捗状況	(達成状況・課題) 7月と10月に総合健診を実施し、当日受診者全員と結果説明会参加者に保健指導を実施した。	次期計画の方向性	維持継続性	
	●疾病を早期に発見し、重症化を抑制するため、総合健診を実施します。 ・自治会学習会、乳幼児健診、小中学校保護者へ通知するとともに、後期高齢者保険証交付時に総合健診の受診勧奨を行います。 ・国保データベースシステム（以下、「KDBシステム」という。）を活用した受診勧奨を行います。 ※「国保データベースシステム＝KDBシステム」・・・全国の国保事業者の健診結果等をまとめたデータベース。それぞれの国保事業者の加入者の健康実態の分析をはじめ類似団体や全国平均等と比較ができます。	(今後の取り組み・改善策) 生活習慣病の予防が介護予防にもつながることも積極的に示しながら、さらなる受診勧奨を行う。					(今後の取り組み・改善策)				
	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
	39歳以下受診率	180	208	178	175		190	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。			
75歳以上受診率	323	357	361	365		340	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。				
【04】特定健診	(達成状況・課題) 集団健診や個別健診等様々な被保険者の希望に沿った受診機会を設け、特定健診を実施した。 平成28年度受診率は57.0%で、前年度比2%増。 平成29年度受診率は、H30.10頃に確定する予定である。					進捗状況	(達成状況・課題) 集団健診、個別健診を通年で実施した。現在の速報値は57.1（H31.2月末）となっているが、今後結果提出者等を合わせると60%に到達する見込み。	次期計画の方向性	維持継続性		
●疾病を早期に発見し、重症化を抑制するため、特定健診を実施します。 ・40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象として、特定健診を実施します。 ・集団健診、個別健診、情報提供、健診結果提出など、対象者に合わせた受診方法を提供します。 ・国保新規加入者に対し、特定健診制度の周知を行います。 ・健康学習会や広報誌、町ホームページなどを使い受診勧奨を行います。	(今後の取り組み・改善策) より効果的に健診受診・保健指導を実施するため、医師からの受診勧奨、医療受診結果の提出、情報提供等、医療機関との連携体制の構築について飯田医師会と協議する。					(今後の取り組み・改善策)					
評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明				
特定健診受診率	55.0	57.0	57.8	65.6		60.0	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。				

	<p>【05】健診受診後の保健指導</p> <p>●健診結果の改善により医療費伸長の抑制、重症化・死亡の回避をするため、総合健診、特定健診受診者への結果説明会の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者に合わせたわかりやすい結果説明に努めます。 健診結果から頸部エコー検査、75g糖負荷検査、微量アルブミン検査、蓄尿検査等の二次検査を行い、健診結果の改善につなげます。 健診結果により指導対象者として把握された方に対し、確実な保健指導を行い、特定保健指導率95%を維持します。 受診者のうち、優先順位の高い重症化予防対象者を明らかにし、医療受診勧奨や生活習慣改善のための保健指導を行います。 将来の国保への加入を見越して、国保加入者以外（社会保険の被扶養者等）の方に対する健康相談、保健指導を行います。 	<p>(達成状況・課題)</p> <p>健診結果の読み取りの学習会を毎月行い、生活習慣と結びつけた保健指導を実施した。特定保健指導率はH30.10頃に確定する予定である。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>より効果的に健診受診・保健指導を実施するため、医師からの受診勧奨、医療受診結果の提出、情報提供等、医療機関との連携体制の構築について飯田医師会と協議する。</p> <table border="1" data-bbox="1009 346 2024 554"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H31</th> <th rowspan="2">目標値の説明</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>見込み</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>84.6</td> <td>69.8</td> <td>74.5</td> <td>70</td> <td></td> <td>95</td> <td>現状水準を維持します。</td> </tr> <tr> <td>特定健診説明会参加及び訪問率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> <td>現状水準を維持します。</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値	特定保健指導実施率	84.6	69.8	74.5	70		95	現状水準を維持します。	特定健診説明会参加及び訪問率	100	100	100	100		100	現状水準を維持します。	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○ 毎月結果説明会の前に、重症化予防対象者及び特定保健指導対象者に担当をつけて事例検討会を実施した。また、説明会に出席しない人に対し、訪問を実施した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
評価指標	H26	H28		H29	H30	H31	H31	目標値の説明																										
	基準値	実績値	実績値	見込み	実績値	目標値																												
特定保健指導実施率	84.6	69.8	74.5	70		95	現状水準を維持します。																											
特定健診説明会参加及び訪問率	100	100	100	100		100	現状水準を維持します。																											
	<p>【06】健診未受診者対策</p> <p>●重症化を予防するため、健診未受診者に対して受診勧奨を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診についてはKDBシステムを利用し分析し受診勧奨対象者の絞り込みを行い、年度毎に効果的、集中的な勧奨を行います。 KDBシステムを活用し、定期受診をしていない人を優先的に受診勧奨します。 がん検診については、検診未受診者の実態把握を行い、検診体制の整備を図ります。 全世帯を対象に健診意向調査を実施するとともに、健康診断の大切さを呼びかけます。 受診率の低い年代に対し、対象者個々に訪問して受診勧奨を行います。 	<p>(達成状況・課題)</p> <p>未受診者対策専門保健師が、訪問により513名に受診勧奨を実施した。そのうち263名が受診につながった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き未受診者対策専門保健師による受診勧奨を行う。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 健診意向調査の未提出者に対し、ハガキ、電話による督促を行った。更に調査未回答者895名に対し訪問等により、227名を特定健診受診につなげた。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>																															
<p>②健康学習の推進</p>	<p>【01】地域における健康学習の推進と健康意識の醸成</p> <p>●町の健康実態にあわせ住民の自己管理能力を育むため、学習会を行います。内容は実態に合わせたものとし、重症化予防、死亡の回避、介護予防へも反映させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自治会に健康推進委員を設置し、自治会での健康学習会を促進します。また健康学習会を健診受診勧奨の場として活用します。 企業や団体等の健康学習会を開催します。 健康を考える集会を運営委員事務局として支援します。 広報誌にて、健康に関する広報活動を行います。 まつかわ健やかマイレージを普及促進します。 <p>【02】課題別学習会の実施</p> <p>●自己管理能力形成のため、健康課題別の学習会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診結果の改善を目指した、慢性腎臓病予防や減塩等の学習会を行うとともに、新たな加入促進も図ります。 健診結果説明会において、対象者に対し課題別学習会への参加を促します。 	<p>(達成状況・課題)</p> <p>高血圧やバランス食、国保制度改正等をテーマとした健康学習会を35自治会及び4団体で実施した。また、1月に第42回健康を考える集会の開催を支援した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康学習会は、包括支援センターによる認知症学習会へ振替えたケースもあり、保健予防系の学習会の減の要因ともなっている。 健やかマイレージのあり方検討については、平成30年度に実施予定である。 <table border="1" data-bbox="1009 1270 2024 1438"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H31</th> <th rowspan="2">目標値の説明</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康学習会開催数(延べ回数)</td> <td>247</td> <td>72</td> <td>39</td> <td>78</td> <td></td> <td>250</td> <td>現状を維持します。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(達成状況・課題)</p> <p>腎機能低下者を対象とした学習会を3月に開催し、8名の出席があった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き実施する。</p>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	健康学習会開催数(延べ回数)	247	72	39	78		250	現状を維持します。	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 家庭測定の意味や、減塩について37自治会、6団体に実施した。第43回健康を考える集会では、歯の健康について学習し、67名の参加があった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>◎ 特定保健指導対象者に対し、年2回体重等の評価健診及びバランス食会を開催した。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<table border="1" data-bbox="2540 961 2870 1018"> <tr> <td>基本事業の成果指標</td> <td>C</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 町で取り組むべき優先的な課題として、血圧、減量、蛋白制限について学習を実施した。 健康学習会や健康を考える集会による町民への健康に対する意識啓発によって、国保保険給付費は減少傾向にある。(一般療養給付費 H27→H28:▲5.1%、H28→H29:▲2.4%) <table border="1" data-bbox="2540 1438 2870 1501"> <tr> <td>次期計画の方向</td> <td>維持継続性</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 町の一人当たり国保医療費は、同規模の町村と比較して86%程度(H26年度実績)に抑えられている。入院では脳血管疾患や高血圧がその要因となっている。 介護保険2号被保険者で要介護3以上の要因は脳卒中が58.3%を占めており、基礎疾患として100%が高血圧者であることが分かっている。 健康学習では、こうした課題を絞った学習会の実施により、効果的な取り組みとする。 	基本事業の成果指標	C	次期計画の方向	維持継続性				
評価指標	H26	H28		H29	H30	H31	H31	目標値の説明																										
	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																												
健康学習会開催数(延べ回数)	247	72	39	78		250	現状を維持します。																											
基本事業の成果指標	C																																	
次期計画の方向	維持継続性																																	

③がん予防	【01】がんを知るための取り組み ●がんに関するメカニズムを知り予防するため、情報や学習の機会の提供を行い、相談の窓口となります。 ・がんの医療費や介護の実態の分析を行います。 ・自治会等で行う健康学習会で「がん」に関する学習会を行います。 ・広報まつかわにおいて「がん」に関する情報を提供します。 ・医療機関や専門医とともに講演会等に参加し、情報の収集を行います。	(達成状況・課題) 日赤病院の特定健診受診時と、検診意向調査の提出者に対し、がん検診の同時受診を勧めた。 (今後の取り組み・改善策) 調査票未提出者に対し、再度通知をすることにより、受診率向上を図る。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 日赤病院の特定健診受診時と、検診意向調査の提出者に対し、がん検診の同時受診を勧めた。 (今後の取り組み・改善策)	基本事業の成果指標 A ・特定健診受診と同時に、がん検診受診を促した。総合健診受診者に対しては積極的に受診勧奨が行えなかった。 ・無料クーポンの方に対し、対象者に通知し受診勧奨を行った。検診意向調査の未提出者に対し、がん検診の申し込みを勧めた。 ・がん検診は、登録制にしたり消化器検診の実施等住民が受けやすい体制づくりをしたのでA評価とした。																																																													
	【02】がん検診の推進 ●早期発見・早期治療につなげるため、がん検診を推進します。 ・検診の必要性を周知します。 ・健診意向調査によって、がん検診の意向を確認し受診を促します。 ・特定健診とがん検診の同時実施を継続します。(胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、肝炎) ・要精密検査者への受診勧奨を行い、確実に受診につなげます。 ・新たに20歳、40歳になる女性に対し、それぞれ子宮頸がん乳がんの無料クーポン券を配布し、受診を促します。	(達成状況・課題) 検診意向調査を活用して、胃、大腸、肺、前立腺等がん検診の受診を促した。20歳と40歳の女性にそれぞれ子宮頸がん乳がん大腸がんの無料クーポンを配布した。クーポン利用者は子宮頸がん8/80名、乳がん26/59名、大腸がん30/148名。 (今後の取り組み・改善策) 松川町の死亡統計や高額医療費の状況からみて、毎年悪性新生物は上位に位置しており、受診率の向上が課題であるため、個別の受診勧奨を推進していく。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 検診意向調査を活用して、胃、大腸、肺、前立腺等がん検診の受診を促した。20歳と40歳の女性にそれぞれ子宮頸がん乳がん大腸がんの無料クーポンを配布し、利用者は子宮頸がん3名、乳がん27名、大腸がん29名だった。 (今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向性 維持継続性 ・がんの好発年齢者に対し、パンフレット等を作成し受診勧奨を行う。また、総合健診受診者に対し、12月消化器検診の受診勧奨を行う。 ・がん検診の体制を維持し、受診者の確保をしていく。																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価指標</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H31</th> <th rowspan="2">目標値の説明</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん健診受診者数</td> <td>670</td> <td>674</td> <td>644</td> <td>685</td> <td></td> <td>750</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診受診者数</td> <td>1,086</td> <td>1,164</td> <td>1,121</td> <td>1,183</td> <td></td> <td>1,150</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診受診者数</td> <td>1,300</td> <td>1,413</td> <td>1,344</td> <td>1,444</td> <td></td> <td>1,350</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診受診者数</td> <td>358</td> <td>513</td> <td>551</td> <td>452</td> <td></td> <td>450</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診受診者数</td> <td>364</td> <td>489</td> <td>475</td> <td>431</td> <td></td> <td>450</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> <tr> <td>がん検診精密検査精検率</td> <td>76.3</td> <td>62.5</td> <td>52.7</td> <td>68.2</td> <td></td> <td>85</td> <td>現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	胃がん健診受診者数	670	674	644	685		750	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。	大腸がん検診受診者数	1,086	1,164	1,121	1,183		1,150	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。	肺がん検診受診者数	1,300	1,413	1,344	1,444		1,350	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。	子宮がん検診受診者数	358	513	551	452		450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。	乳がん検診受診者数	364	489	475	431		450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。	がん検診精密検査精検率	76.3	62.5	52.7	68.2		85	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。		
評価指標	H26		H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																																																									
	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																																																											
胃がん健診受診者数	670	674	644	685		750	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
大腸がん検診受診者数	1,086	1,164	1,121	1,183		1,150	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
肺がん検診受診者数	1,300	1,413	1,344	1,444		1,350	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
子宮がん検診受診者数	358	513	551	452		450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
乳がん検診受診者数	364	489	475	431		450	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
がん検診精密検査精検率	76.3	62.5	52.7	68.2		85	現在の実績水準に、施策による増加分を見込みます。																																																										
④歯・口腔の健康	【01】むし歯や歯周病の予防 ●歯の喪失を減らし、よく噛むことにより生活の質や活動能力を高めるため、幼児期と学童期のむし歯予防指導を実施します。 ・乳幼児の歯科相談、歯科健診を行い、保護者が子どもに歯の健康のために生活習慣の改善や早期治療、定期的な歯科受診等を行うように指導を行います。 ・保育園では保護者を対象にした歯の健康に関する講演会を行います。 ・小中学校養護教諭とむし歯の情報を共有します。 ・歯科医師会と連携し、乳幼児保護者の定期的な受診の普及を検討していきます。	(達成状況・課題) 歯科衛生士、歯科医師による乳幼児期の歯科相談・健診を実施した。成人の歯周病予防については、生活習慣病の予防も踏まえ、年度末年齢40、50、60、70歳及びHbA1c6.5以上者に歯周病検診を実施することとした。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 歯科衛生士、歯科医師による乳幼児期の歯科相談・健診を実施した。成人の歯周病予防については、生活習慣病の予防も踏まえ、年度末年齢40、50、60、70歳及びHbA1c6.5以上者に歯周病検診を実施し、受診率は12.47%だった。	基本事業の成果指標 B 今年度初めて、成人に向けて歯周病予防のための歯科検診を実施した。また、乳幼児健診では、月齢に合った歯科指導を行ったことにより、親と子に対する歯科への関心を定着させることができた。																																																													

⑤精神保健	【01】 心の健康予防	(達成状況・課題)	進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果 指標	A
	● <u>心の健康を保持するため、自殺対策も含め、本人、家族への心の相談を行います。</u> ・相談を受付する窓口を周知します。また、自殺予防に関する広報活動を行います。 ・相談内容に応じて専門医、医療機関につなげる体制を整備します。 ・統合失調症やうつ病など、心の病気に関する情報や自殺予防に関する情報を提供します。 ・ひきこもりに対し、生活実態を把握して社会復帰のための支援を行います。	・社会福祉士等の専門家による専用の相談窓口を設置し、45件15名の相談に対応するとともに、専用電話回線を引いて、気軽に相談できる体制を整えた。 ・6月に関係機関連絡会を開催し、総合的な推進体制を整備した。	◎	関係機関と連携して、自殺対策基本計画を策定した。計画策定にあたり、関係機関からの実態や課題が出され、今後の課題について検討することができた。	相談窓口の設置により、新たな相談者が増加した。また、自殺対策基本計画策定により、今後取り組むべき課題が明確となった。	
	(今後の取り組み・改善策)	(今後の取り組み・改善策)				
		関係機関の役割と町の実態を整理し、平成30年度末までに町の自殺対策推進計画を策定する。				
	【02】 精神障がい者が地域で暮らしていくための支援	(達成状況・課題)	進捗状況	(達成状況・課題)	次期計画の方向 性	維持継続 性
	● <u>精神障がい者が、地域で生活できるようになるため、当事者の会や家族会を支援します。</u> ・地域活動支援センターとの連携をはかり、利用につなげていきます。 ・精神疾患の長期入院の実態を分析し、地域へ移行するための体制整備を検討していきます。	地域活動支援センター、福祉係も加わったケース会議等を行い、家庭の状況に応じた生活支援、就労支援等や家族会の研修支援を行った。	○	地域活動支援センターと共同で、バランスの良い食事について学習した。家族会の支援については、個別相談に留まり支援はできなかった。	・精神保健福祉手帳取得者や、自立支援医療受給者に対し、関係機関と連携して、訪問や面談を実施していく。 ・年4回地域活動支援センターで利用者に対し、健康学習会を開催し、健康について学ぶ機会を作る。 以上の取り組みにより、特にうつ病を患い、その後退院になった者の受け皿としての機能を充実させることにより、社会復帰のための支援をしていく。	
	(今後の取り組み・改善策)	(今後の取り組み・改善策)				
		家族会への参加など、情報提供の機会を通して支援していく。				
⑥感染症の予防	【01】 感染症の予防および予防接種事業	(達成状況・課題)	進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果 指標	A
	● <u>病気の重症化や伝染の恐れのある感染症の発生・まん延を防止医療費を抑制するため、予防接種を実施します。</u> ・予防接種法に基づき補助と受診勧奨を行います。乳幼児については健診時に接種状況を確認し、確実な接種を促します。 ・インフルエンザについては予防接種補助事業（対象：65歳以上高齢者、保育園3歳以上児）を推進します。 ・高齢者肺炎球菌ワクチン（65歳以上）の定期化に伴い、新規に65歳になる方に対し、接種勧奨を行います（平成32年度まで）。 ・予防接種に対する副反応については、ワクチン接種勧奨通知にわかりやすく記載するなど周知を行います。 ・感染症の発生やまん延を防止するため、健康危機管理体制のマニュアル作成を行います。	予防接種受診率向上に向け、乳幼児健診での予防接種の把握や就学前勧奨を行った。また、接種間違い防止のため、予診票に氏名、生年月日、接種注意事項を印字した。	◎	子供の予防接種は、接種期間の前に関診票を送ったことで受診率向上につながった。また、毎回乳幼児健診で接種状況を確認し、保護者に受診勧奨を行った。また、新たに始まる成人の風疹事業の準備を行った。	・子供の予防接種については、接種時期近くに問診票を送ったことで接種率向上につながった。風疹事業は年度途中で方針が出されたが、今年度から実施が可能となった。 ・定期接種は、接種近くに通知を 出し 、乳児期は接種する予防接種が多いため乳幼児健診・通知等で丁寧な確認を行い受診率向上に努めた。	
	(今後の取り組み・改善策)	(今後の取り組み・改善策)				
		二種混合ワクチンについては、平成30年度より個別接種に移行されるため、受診率が下がらないよう受診勧奨を行う。			次期計画の方向 性	維持継続 性
					・引き続き乳幼児健診や広報、通知等による受診勧奨を実施していく。 ・接種率向上のため通知や接種確認作業を継続実施していく。	

(2) 医療救急体制の充実											
①安心して医療を受けられるまちづくり	【01】 町内医療機関との連携	(達成状況・課題)						進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	B
	●連携した医療を行える体制を維持するため、町内医療機関と情報交換を実施します。 ・連携強化のための町内医療機関との定期懇談会を開催します。 ・円滑な医療体制維持のため、必要に応じ随時会議を開催します。	医師からの特定健診受診勧奨や医療情報の提供、重症化予防対象者への行政と医療双方の関わり等、第2期保健事業実施計画（データヘルズ計画）策定にあわせ、町と医療機関との連携体制について協議を行った。 (今後の取り組み・改善策) 平成30年度より、生活習慣病との関連も踏まえた歯周病検診を新たに実施する。制度周知を行い、受診につなげる。	○	特定健診の受診につながる診療情報提供の仕組みで、75名について情報を得た。また、健診結果の重症化予防のために、個別の相談を行い保健指導の共有ができた。	・医療機関と連携して、特定健診の受診率向上や重症化予防について医師と検討ができた。 ・医師会や県等と協力し医療情報について広報ができた。 ・下伊那赤十字病院との懇談会を通じ、町民や町、議会からの率直な意見や提案により情報共有等が図られた。						
【02】 下伊那赤十字病院との連携	(達成状況・課題)						進捗状況	(達成状況・課題)	・平成25年度より交付している、「公的病院医療確保対策補助金」により、安定的な医療水準の確保に一定の成果があった。		
●下伊那赤十字病院が、地域住民の医療に対するニーズに十分に答え、地域中核病院として役割を果たすことができるよう、情報共有および意見交換を行います。 ・「公的病院医療確保対策補助金」を交付し、医療水準を安定的に確保します。 ・松川町日赤運営協議会等に参加し、情報共有および意見交換を行います。	安定的医療水準の確保のため、下伊那赤十字病院に対して公的病院医療確保対策補助金を交付した。 連携体制の構築の1つとして、災害時の医療救護活動の協定を締結した。 (今後の取り組み・改善策) 適時に意見交換の場を設けることにより、町と病院の連携体制の構築を進める。	○	公的補助金について、貸借表を用いて今後の日赤のあり方について検討した。								
	【03】 医療体制の確保	(達成状況・課題)						進捗状況	(達成状況・課題)	次期計画の方向	維持継続性
	●地域の医療体制を確保するため、関係機関と連携し、医師等の確保に向け働きかけを行います。 ・看護師不足に対応するため、「看護学科就学支援制度」について検討を行います。 ・下伊那赤十字病院診療科の充実を支援します。 ・上片桐診療所の維持・支援を行います。 ・産婦人科医師の確保について関係機関へ働きかけを行います。	下伊那赤十字病院に耳鼻科の常勤医師が4月より採用され、外来診療日の拡大が図られた。 (今後の取り組み・改善策) 人口規模等から医師確保が非常に困難な状況であるため、どのような方策をとることができるか、引き続き、町内医歯会、町村会、県と連携しながら対策を検討する。	○	婦人科医師の休診により、婦人科健診の実施方法を飯田医師会と連携して構築した。	・医療費分析の結果から、高額医療になる心疾患について、発症予防のための精密検査等の体制整備について、医師と検討を行っている。 ・引き続き医師会と連携し医療情報の広報や、医師確保について連携を行う。						
	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明			
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値				
町内常勤医師数	11	11	11	11		13	過去の水準を確保します。				
	【04】 休日・夜間急患診療体制の確保	(達成状況・課題)						進捗状況	(達成状況・課題)		
	●休日および夜間において確実に診療体制がとれるよう、小児救急医療体制の確保を含め、飯伊地区包括医療協議会輪番体制を支援するとともに、住民にチャンネル・ユー文字放送、町ホームページを利用し当番医、受診方法の周知を行います。	チャンネル・ユーや町のホームページを通じて、休日夜間緊急当番医について毎月案内を行っている。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き情報提供を行っていく。	○	チャンネル・ユーや町のホームページを通じて、休日夜間緊急当番医について毎月案内を行っている。							
②救急体制の充実	【01】 AEDの普及	(達成状況・課題)						進捗状況	(達成状況・課題)	基本事業の成果指標	D
	●救命率を向上させるため、住民が集う機会へAEDの利用できる環境を整えます。 ・イベントなどで利用できるよう移動式AEDの貸与制度の拡充を検討します。 ・町内福祉施設を運営する事業者等と情報交換を行い、危機管理係と連携しAEDマップの最新化を行います。	本年度未実施。 (今後の取り組み・改善策) 危機管理係や生涯学習・男女共同参画係と連携して、AEDマップの更新等について協議する（H31年度予定）。経費的な課題解決のため、リースによる導入も進める。	△	本年度未実施。	AEDの普及について実施できなかった。						
										次期計画の方向	縮小・廃止性
										総務課と協議し、係単独事業は廃止していく。	

(3) 国民健康保険税等の健全運営					
①国民健康保険税等の健全運営	【01】国民健康保険の健全運営 ●国民健康保険事業特別会計の長期的な安定運営のため、医療費の動向を見据えながら、適正な国保税率を設定し健全な保険運営を行います。 ・医療費の抑制を図るため、「健康まつかわ21」に沿った保健予防活動を推進します。 ・国保運営協議会を開催し、健全運営のために必要な施策を協議するとともに適正な税率を設定します。 ・悪質滞納者への厳格な対応を行います。 ・適用の修正、レセプト点検、第三者行為賠償等の適正化事業に引き続き取り組みます。 ・重症化予防対象者に対し、生活習慣病予防訪問を行い、健診結果の改善による医療費の抑制、介護予防、重症化予防、早世死亡の回避、健康格差の縮小につなげます。 ・国民健康保険事業運営計画をもとに事業運営の健全化を図ります。 ・平成30年度の県下広域化に向け、情報収集を行い準備を進めてます。	(達成状況・課題) 国保制度の県単位化に伴い、年間3回運営協議会を開催し、賦課方式や一般会計の繰入等、広域化に向けた松川町の方針・方向性について協議した。また、制度改正によるシステム改修も遅滞なく実施した。 保険者努力支援制度では290点/345点を獲得した(県内1位/77市町村、全国8位/1,741市町村)。 (今後の取り組み・改善策) 特定健診受診率の向上、がん検診受診率の向上等、保険者努力支援制度も踏まえた国保保険事業の推進を図る。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 年2回運協を実施し、医療費の動向や税率について協議した。また、今年度から毎月KDBを用いて高額医療の状況を把握し、保健指導の実施内容について検討が行えた。	基本事業の成果指標 A ・平成30年度からの県単位化に伴い、国の財政支援が増大するとともに、単年度の保険給付費に左右されにくい安定的な財政運営が可能となった。 ・国保の県単位化に伴い導入された「国保保険者努力支援制度」において、前倒しで行われた平成28年度において、特定健診、特定保健指導のほか保健予防の取り組みが総合的に評価され、県下1位、全国8位の成績を納めることができた。	
		(今後の取り組み・改善策) 次期計画の方向 引き続き医療費分析を月毎に行い、保健事業評価も行うことで、効果的な保健事業の展開を実施することにより、国保税の抑制については介護保険料の抑制に寄与する。	維持継続性		

第5章 地域から学び 次の世代へつなげる

第4項 健全な食生活を継続する環境づくり (食育)

基本事業	事業の内容	平成29年度評価					平成30年度評価		総括評価
(1) ライフステージに沿った食育の継続的な支援									
①未来を担う子どもの食育	【01】妊娠期の食育【新規】 ●母体や胎児を支えるため、食に関する意識づけを行います。 ・妊娠による身体の変化に伴う食事内容と健康について、本人や家族に情報提供と相談支援を行います。	(達成状況・課題) 両親学級を年6回開催し、32名(うち男性4名)が参加した。試食による意識づけや相談支援を行った。 (今後の取り組み・改善策) 20代、30代の世代へのアプローチの機会は限られているため、両親学級の参加者数の増加を目指す。	進捗状況 (達成状況・課題) ○ 両親学級を開催し38名の参加があった。みそ汁の試食で塩分制限に対する意識づけとなった。 (今後の取り組み・改善策)	基本事業の成果指標 A ・両親学級や乳幼児健診の場で、バランス食の試食や月齢に必要な栄養素等について学習した。 ・小中学校の血液検査の結果から、指導内容を学校と検討し、保健指導を実施した。					
		評価指標	H26 基準値	H28 実績値	H29 実績値	H30 実績値	H31 実績値	H31 目標値	目標値の説明
	親子クッキング開催回	2	3	3	2		6	施策による増を見込みます。	
	【02】乳幼児期の食育【新規】 ●食形成を進めていくため、学習の機会を提供していきます。 ・4ヶ月～3歳までの8回の健診の中で、子どもの発達に応じた食事の提供を案内します。 ・食形成の時期に、必要な手助けが進められるよう、母親への支援を行います。 ・楽しみとしての食事、生きるための食事の学習を進めます。 ・未入園児を対象に、食事・調理に触れ合う機会を提供します。	(達成状況・課題) 離乳食の経験のない初産婦などを対象に、本年度より離乳食教室を開催した。参加者10名。 (今後の取り組み・改善策) 子育て支援センターと連携し、赤ちゃんクラブの中で離乳食に関する個別相談を実施する。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ こども課と連携し、赤ちゃんクラブで離乳食教室を開催した。5月と11月に開催し計25組の参加があった。 (今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向 維持継続性 ・こども課と連携して、引き続き月齢や年齢に合わせたバランス食について学習したり、体験できる場の提供を行う。					
【03】学童期～思春期の食育【新規】 ●成長期に健やかな体を育てるため、食と体の関連について学習の機会を提供していきます。 ・小学校5年生と中学校2年生において血液検査を実施し、食と体の関わりを学習する機会を提供するとともに子どもたちの課題について家族で改善に向けた取組を支援します。 ・調理技術の伝達や料理を覚えられる機会を提供します。 ・各小中学校で健康相談を実施します。 ・自分の地域の特徴や伝統を知る機会を提供します。	(達成状況・課題) 小学校5年生と中学校2年生を対象に血液検査を実施した。あわせて小学生3名、中学生4名に食事のとり方に関する親子の健康相談を行った。 (今後の取り組み・改善策) 学童期から思春期世代の食育は家庭環境によるものも大きいため、健康相談等の実施について引き続き小中学校の栄養教諭と連携していく。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 小中学校の養護教諭と栄養士と連携し、血液検査の実施、授業、個別相談を実施した。 (今後の取り組み・改善策)							

②生活習慣病の発症予防・重症化予防のための食育	【01】 青壮年期の食育【新規】	(達成状況・課題) 総合健診・消防団健診を通じて、生活習慣病予防のための保健指導や相談支援を行った。また本年度は、バランス食をテーマにした健康学習会を計12回開催した(11自治会、1団体)。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き食に関する健康学習会を実施する。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 総合健診・消防団健診を通じて、生活習慣病予防のための保健指導や相談支援を行った。また本年度は、バランス食をテーマにした健康学習会を計15回開催した。 (今後の取り組み・改善策)	基本事業の成果指標	Λ																						
	●生活習慣病の発症予防・重症化予防のため、学習会や情報提供を行います。 ・消防団健診や総合健診において保健指導や学習会により情報を提供します。 ・子育て支援センター・親子クッキング等で料理を作る側の支援を行います。 ・健康に過ごすための支援と、疾病の重症化を防ぐための学習会や個別支援を行います。	<table border="1"> <tr> <th>評価指標</th> <th>H26</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H31</th> <td rowspan="3">目標値の説明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基準値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>課題別学習会開催回数</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td>10</td> <td>施策による増を見込みます。</td> </tr> </table>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	課題別学習会開催回数	6	5	4	2		10	施策による増を見込みます。		
評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																				
	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																					
課題別学習会開催回数	6	5	4	2		10		施策による増を見込みます。																			
●健康で過ごすための支援や疾病の重症化を防ぐため、学習会や個別での支援を提供します。 ・高齢者が健康を保つための食生活について、自治会学習会や総合健診等で分かり易く情報を提供します。	【02】 高齢期の食育【新規】	(達成状況・課題) 包括支援センターと連携して水曜クラブを開催し、高齢者を対象とした食生活の学習会を開催した(年18回)。また、総合健診を通じて個別の相談や保健指導を実施して支援を行った。重症化予防の学習会「いたわる会」を1回実施した。 (今後の取り組み・改善策) 継続して実施する。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 包括支援センターと連携して水曜クラブを開催し、高齢者を対象とした食生活の学習会を開催した(年18回)。また、総合健診を通じて個別の相談や保健指導を実施して支援を行った。 (今後の取り組み・改善策)	次期計画の方向	維持継続性 ・年齢に合ったバランス食を機会ある毎に学習していく。																						
③「食に関する学習」機会の提供	【01】 「食に関する学習」機会の提供【新規】	(達成状況・課題) 保育園、小学生とその親を対象に飲み物の糖分の量について学習会を開催した。子供達の調理体験について食生活改善推進員の方と連携し、支援を行った。 (今後の取り組み・改善策) 食育に関する集会を開催し、課題や取り組みについて話し合う機会を設ける。こうした場で出された提案等の実施に向け取り組んでいく。	進捗状況 (達成状況・課題) ◎ 8月に食育基本計画に向けて食育のつどいを実施した。参加者は18名と少なかったが、産業観光課、こども課、環境水道課、味の里からの発表もあり横のつながりが強化された。 (今後の取り組み・改善策)	基本事業の成果指標	Λ 地域の既存のグループや学校等と連携して、食についての学習会を実施した。加えて食育のつどいや食に関するアンケートを実施した。																						
	●地域の人や資源と関わりながら食文化を見直すため、「食」をテーマとした学習機会を提供します。 ・保育園、小中学校、公民館活動等と連携し、「食」をテーマとした学習会を実施します。				次期計画の方向	維持継続 食育基本計画を策定し、世代毎の課題解決を関係機関と連携して実施していく。																					

第6章 みんなで支え合い 子どもたちを育てていく

第1項 次世代の担い手を育てる環境づくり(次世代育成)

基本事業	事業の内容	平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価	
(1) 次代の親の育成(結婚・出産等の支援)					
②めばえ支援(不妊治療費等助成)事業	【01】 めばえ支援(不妊治療費等助成)事業	(達成状況・課題)	進捗状況 (達成状況・課題)	基本事業の成果指標	Λ
	●不妊症や不育症に悩む夫婦を援助するため、「めばえ支援事業」を実施します。 ・制度の内容について、町ホームページや広報誌への掲載、また産科医院へのチラシの設置等で周知します。	町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、9件の補助金を交付した。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き支援を行う。	○ 町ホームページや窓口を通じて、制度の周知を行った。個別相談も実施し、1件の補助金を交付した。 (今後の取り組み・改善策)	○ 県の制度と合わせて補助制度の広報を実施した。 次期計画の方向 維持継続 今後も医療機関と連携して、相談しやすい体制づくりを実施していく。	

(2) 子育て世帯への経済的支援

第2項 安心して子育てができる地域づくり(子育て支援)

基本事業	事業の内容	平成29年度評価	平成30年度評価	総括評価	
(1) 子どもや母親の健康の確保					
①乳幼児期の母子保健	【01】 妊娠届(母子手帳、健康相談)	(達成状況・課題)	進捗状況 (達成状況・課題)	基本事業の成果指標	以下のとおり
	●妊婦が安心して安全な出産を迎えることができるよう、母子健康手帳、受診券を交付します。 ・妊娠届時の聞き取りから、ハイリスク妊産婦※の把握につなげます。 ・母子健康手帳交付時に妊婦健診受診券を交付し、健診受診を促します。 ・低体重での出生は高額医療の原因、生活習慣病のリスクとなることから、予防のための情報提供を行います。 ※「ハイリスク妊産婦」…産前産後や子どもの胎児期、新生児期に危険が生じる可能性を高く持っている妊産婦のことで	対象者すべてに母子手帳と受診券の交付を行い、健診受診を促進した(H29.4~H30.2月末補助件数1,717件)。 (今後の取り組み・改善策) 引き続き実施する。	◎ 対象者すべてに母子手帳と受診券を交付し、両親学級、医療機関の妊婦健診の受診勧奨を行った。(H30.4~H31.3月末 補助件数1,628件) (今後の取り組み・改善策)	【保健福祉課:Λ】 妊娠期から乳幼児健診まで、母子保健事業を実施した。H30年10月から産後健診事業も開始し、産褥期の相談体制も充実させた。乳幼児健診で療育が必要な児に対し、こども課と連携してあそびの教室を実施した。	

<p>【02】 両親学級の開催</p> <p>●妊娠による母体の変化や、生活のあり方を指導するため、両親学級を開催します。 ・妊娠届出時にハイリスク妊産婦を把握し、両親学級参加を促します。 ・教室では、両親が主体的に胎児の成長とそれを保証する環境としての母体を理解し、生活のあり方を考えるための学習を行います。 ・両親学級に参加できない方のために、母体や生活のあり方等の情報提供をします。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>年6回両親学級を開催し、参加者は32名(うち父親出席4名)であった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き、病院等で行われている支援についての情報収集を行い、両親学級開催の意義について整理するとともに、参加率の向上について検討する。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 年6回の両親学級を開催し、参加者は38名であった。(うち父親出席3名)であった。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>	<p>次期計画の方向性</p> <p>以下のとおり</p>																																								
	<table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>H26</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H31</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基準値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>両親学級参加率</td> <td>27.7</td> <td>15.6</td> <td>18.3</td> <td>23.2</td> <td></td> <td>30</td> <td>実績に加え、施策による増加分を見込みます。</td> </tr> </table>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		両親学級参加率	27.7	15.6	18.3	23.2		30	実績に加え、施策による増加分を見込みます。		<p>【保健福祉課：維持継続】 妊婦健診や産後健診時の情報を医療機関と情報共有することで、産後うつを早期に発見し相談にのることができる。 あそびの教室を1歳と2歳クラスに分け、早期から課題解決ができるようにこども課と連携を図る。</p>																
評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																																				
	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																																					
両親学級参加率	27.7	15.6	18.3	23.2		30	実績に加え、施策による増加分を見込みます。																																				
<p>【03】 ハイリスク妊産婦訪問指導</p> <p>●産前産後の妊産婦の健康を支援するため、ハイリスク妊産婦へ助産師による妊婦訪問を行います。 ・把握した対象者に対して、助産師が訪問し、低出生体重児を防ぐための支援を行います。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>平成29年度は対象者がいなかったため、実施していない。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>該当があった場合には、助産師による訪問支援を行う。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○ 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>																																									
<p>【04】 新生児健診 (2ヶ月訪問、股関節脱臼等)</p> <p>●新生児の健やかな発育発達を図るため、新生児健診事業を実施します。 ・(1ヶ月児) 乳児一般健康診査 ・(2ヶ月児) 発達段階や育児環境に応じた訪問指導となるよう随時内容を検討していきます。また、訪問時の実態から継続的な支援が必要な場合には保育士訪問につなげます。 ・(3ヶ月児) 股関節脱臼検診 ・乳幼児健診・相談の場において母親の健康相談も行います。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。2ヶ月児は、対象者87名に対し助産師による訪問を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き実施する。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 年間通じて1ヶ月児健診、2ヶ月児訪問、3ヶ月児健診を実施した。2ヶ月児は、対象者89名に対し助産師による訪問を行った。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>																																									
<p>【05】 保育士訪問事業</p> <p>●育児不安の解消および家族の育児負担の軽減や育児力形成のため、保育士による訪問支援を行います。 ・2ヶ月児訪問の様子から4ヶ月健診までの間に、保育士による訪問支援を行います。 ・「子育て支援センターおひさま」と連携し育児支援が必要な家庭に対して、保育士が訪問支援を行います。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>平成29年度は、対象者がなかったため実施していない。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き子育て支援センター職員との連携体制をとり、母親の育児不安の解消等のため継続的な支援につなげる。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>○ 平成30年度は対象者がいなかったため、実施していない。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>																																									
<p>【06】 乳幼児健診・乳幼児相談事業</p> <p>●子どもや育児環境の実態を踏まえた親の育児力の形成を支援するため、乳幼児健診事業・乳幼児相談事業を実施します。 ・発育・発達の異常の早期発見のため、4ヶ月、1歳半、3歳児を対象として乳幼児健診を実施します。医師と歯科医師の診察を行います。 ・7ヶ月児、10ヶ月児、12ヶ月児、2歳児、2歳6ヶ月児を対象とした乳幼児相談を実施します。保健師、栄養士、保育士、歯科衛生士による集団学習、個別相談を行います。 ・乳幼児健診・相談の未受診者に対して、受診勧奨を行い、対象者の実態に合わせて個別相談も行います。 ・集団指導・個別指導の内容を随時検討し、内容の充実を図っていきます。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数788名。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>引き続き町全体の傾向や実態を把握していく。</p> <table border="1"> <tr> <td>評価指標</td> <td>H26</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>H31</td> <td>H31</td> <td>目標値の説明</td> </tr> <tr> <td></td> <td>基準値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>実績値</td> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4ヶ月健診参加率</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>100</td> <td>99</td> <td></td> <td>100</td> <td>現状の水準を維持します。</td> </tr> <tr> <td>1歳半健診参加率</td> <td>96</td> <td>100</td> <td>97</td> <td>99</td> <td></td> <td>98</td> <td>現状の水準を維持します。</td> </tr> <tr> <td>3歳児健診参加率</td> <td>98</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>99</td> <td></td> <td>99</td> <td>現状の水準を維持します。</td> </tr> </table>	評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値		4ヶ月健診参加率	100	99	100	99		100	現状の水準を維持します。	1歳半健診参加率	96	100	97	99		98	現状の水準を維持します。	3歳児健診参加率	98	100	99	99		99	現状の水準を維持します。	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 月齢、年齢に応じた乳幼児健診・相談を毎月実施した。乳幼児健診受診者数778名。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>	
評価指標	H26	H28	H29	H30	H31	H31	目標値の説明																																				
	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値																																					
4ヶ月健診参加率	100	99	100	99		100	現状の水準を維持します。																																				
1歳半健診参加率	96	100	97	99		98	現状の水準を維持します。																																				
3歳児健診参加率	98	100	99	99		99	現状の水準を維持します。																																				
<p>【07】 療育支援の実施</p> <p>●子どもの成長や発達を促すため、親子のふれあい遊びや課題遊びを通し療育を行います。 ・理学療法士、言語聴覚士、保育士、子育て支援センター保育士、保健師による遊びの教室を行います。年間を通して、さまざまな課題遊びを行い、親子の関わりを通じて発達を支援します。 ・「子育て支援センターおひさま」や「療育支援センターひまわり」と連携し、専門機関への紹介も行います。 ・理学療法士、言語聴覚士等の専門相談や専門機関への紹介を行います。</p>	<p>(達成状況・課題)</p> <p>理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数18名(平成30年3月末現在)。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p> <p>言語の発達支援の拡充について検討する。</p>	<p>進捗状況 (達成状況・課題)</p> <p>◎ 理学療法士、言語聴覚士、保育士、保健師等の各種専門職が連携し、年23回遊びの教室を開催し、総合的な発達支援を行った。遊びの教室登録者数17名延べ208名参加。</p> <p>(今後の取り組み・改善策)</p>																																									

2020年に向けて、なくそう望まない受動喫煙～受動喫煙の防止がマナーからルールへ～

2018年7月に健康増進法の一部が改正され多くの人が利用する全ての施設において、2020年までに**原則屋内禁煙**となります。

特に、患者や未成年がいる学校や病院は2019年7月1日から敷地内禁煙となり、飲食店や会社等は2020年4月1日から原則屋内禁煙となります。飲食店は、喫煙専用室の設置や標識掲示についての財政・税制上の措置がありますので、詳しくは厚生労働省ホームページ (<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp>) にお問い合わせ下さい。

2020年に向けて

多くの施設において
屋内が原則禁煙

20歳未満の方は
喫煙エリアへ立
ち入り禁止に

屋内での喫煙に
は喫煙室の設置
が必要に

喫煙室には標
識掲示が義務
付けに

また、ご家庭内でも受動喫煙による健康被害を防ぐように心がけましょう。

○受動喫煙とは

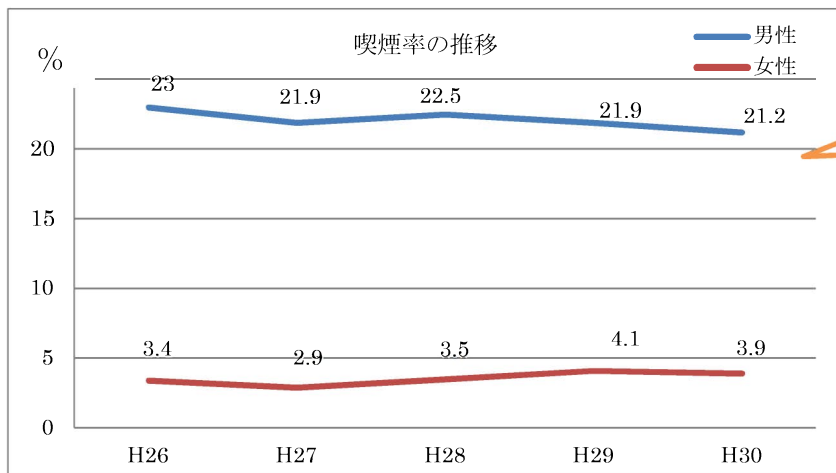
室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいいます。

○受動喫煙の害

たばこの先から出る副流煙には主流煙よりもニコチン2.8倍、タール3.4倍、一酸化炭素4.7倍含まれています。また、その他にも発がん性のある化学物質も含まれているため、受動喫煙による肺がんや子供の呼吸器疾患等が懸念されます。



○国保特定健診受診者の喫煙率の推移



喫煙率は男女とも横ばいとなっています。

肺炎の出現率が高く、年代で見ると70～74歳の男性が多くなっています。喘息では、50代の女性の出現率が高くなっています。喫煙との関連性を分析していきます。

○国保の肺疾患の発症率（人口1000人に対する出現率）

	性別	長野県	同規模	松川町	再掲			
					40代	50代	60代	70～74歳
肺炎	男性	0.363	0.497	0.736	1.086	0	0.968	2.151
	女性	0.153	0.297	0.106	0	0	0.456	0
喘息	男性	0.089	0.161	0.057	0	0	0.496	0
	女性	0.097	0.125	0.106	0	0.899	0	0.249

空気のきれいな体に優しい環境づくりに心がけましょう